

科目名	がん看護学特講 I			分野・必選別・単位数	専門科目 (がん看護学)	選択	2単位
担当教員	◎教授 南川雅子						
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	前期	授業方法	講義
授業の概要	がん看護の基盤となる主要な理論とその活用について探求する。がん看護における専門看護師の役割と機能について学ぶ。						
授業の到達目標	1. がん看護の基盤となる理論を用いた対象理解とがん看護への活用方法について説明できる。 2. がん看護における倫理的課題について説明できる。 3. がん看護専門看護師の役割と機能について説明できる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	南川 雅子	教授	がん看護学概論 がん医療・看護の動向、およびがん患者の特徴について説明できる。			
	2	南川 雅子	教授	健康の理論 マーガレット・ニューマンの健康の理論を用いた対象理解と看護実践への適応について考察する。			
	3	南川 雅子	教授	健康の理論 マーガレット・ニューマンの健康の理論を用いた対象理解と看護実践への適応について考察する。			
	4	南川 雅子	教授	悲嘆、レジリエンス 悲嘆、レジリエンスの概念を用いた対象理解と看護実践への適応について考察する。			
	5	南川 雅子	教授	悲嘆、レジリエンス 悲嘆、レジリエンスの概念を用いた対象理解と活用方法を説明できる。			
	6	南川 雅子	教授	セルフケア理論、自己効力感 セルフケア理論、自己効力感の概念を用いた対象理解と活用方法を説明できる。			
	7	南川 雅子	教授	セルフケア理論、自己効力感 セルフケア理論、自己効力感の概念を用いた対象理解と活用方法を説明できる。			
	8	南川 雅子	教授	エンパワメント・エデュケーション エンパワメント・エデュケーションの概念に基づき、患者・家族への教育的な関わりについて説明できる。			
	9	南川 雅子	教授	エンパワメント・エデュケーション エンパワメント・エデュケーションの概念に基づき、患者・家族への教育的な関わりについて説明できる。			
	10	南川 雅子	教授	がん看護における倫理的課題 がん看護における倫理的課題と調整方法について説明できる。			
	11	南川 雅子	教授	がん看護における倫理的課題 がん看護における倫理的課題と調整方法について説明できる。			
	12	南川 雅子	教授	がん看護専門看護師の役割と機能 がん看護専門看護師の役割と機能について説明できる。			
	13	南川 雅子	教授	がん看護専門看護師の役割と機能 がん看護専門看護師の役割と機能について説明できる。			
	14	南川 雅子	教授	がん看護におけるコンサルテーション がん看護におけるコンサルテーションの基本について説明できる。			
	15	南川 雅子	教授	がん看護におけるコンサルテーション がん看護におけるコンサルテーションの基本について説明できる。			
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	マーガレット・ニューマン著、手島恵訳：マーガレット・ニューマン看護理論，医学書院，1995。 キャロル・ピカード，ドロシー・ジョーンズ：ケアリングプラクティス，すびか書房，2013。 大西和子，飯野京子編：がん看護学，ヌーヴェルヒロカワ，2011。 その他、随時紹介する。						
参考書							
成績評価の方法および基準	プレゼンテーションと質疑応答40%、レポート60%により評価する。						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						